

あなたの寄附で、ふるさと岐阜市を元気に！元気なぎふ応援寄附金

HP 1008503



「元気なぎふ応援寄附金」は、皆さんからいただいた貴重な寄附金をより豊かで魅力あふれる岐阜市を目指す取り組みに活用させていただく制度で、どなたでも寄附できます。あなたも岐阜市の未来を応援してみませんか。

●寄附の使いみち

5つの分野、2つの特定事業の中から寄附金を役立てたい項目をお選びいただけます。

【分野】●市政全般 ●教育・生涯学習・文化芸術

●医療・健康・福祉 ●環境・産業・観光 ●市民活動・防災・防犯

【特定事業】●FC岐阜の活動支援寄附金 ●岐阜市鵜飼観覧船事業応援寄附金

◎その他の具体的な事業に対する寄附も相談のうえ対応。

●寄附の手続き

①申し込み＝市ホームページに掲載のふるさと納税ポータルサイトまたは開庁日時に直接市民協働生活政策課へ。

②寄附の方法＝インターネットを利用したクレジットカード決済・マルチペイメントによる支払い ●金融機関・ゆうちょ銀行でのご入金(申し込み確認後、納付(払込)用紙を送付) ●市民協働生活政策課窓口での現金払い

③領収書の受領＝クレジットカード決済・マルチペイメントによる支払い：手続き完了後に受領証明書を郵送 ●金融機関・ゆうちょ銀行でのご入金：納付用紙などの半券が領収書(後日受領証明書を郵送) ●窓口で直接ご寄附：その場で発行(後日受領証明書を郵送)

☎市民協働生活政策課(市庁舎9階・☎214-4865)

岐阜市動物愛護応援寄附金を募集



市民と動物が共生するまちづくりを進める中で、動物愛護 HP 1041901 事業をより一層推進するため、岐阜市動物愛護応援寄附金を10月1日から募集しています。皆さんのご支援をお願いします。

募集した寄附金は、岐阜市民公園内に開設を予定している(仮称)岐阜市動物愛護センターの整備をはじめ、収容された犬猫の譲渡促進に向けた取り組み、避妊手術や適正な飼ひ方の啓発など、さまざまな動物愛護事業に活用します。

☎保健所保健衛生政策課☎252-7192

インフルエンザにご注意を

●かからないために…

①こまめに手洗いをしましょう。

②十分な睡眠とバランスのよい食事を心がけましょう。

③室内の湿度を適度(50～60%)に保ち、こまめに換気をしましょう。

●うつさないために…

体調が悪い時は極力外出を控え、外出時にはマスクをしましょう。

◎予防接種は発病を予防することや、発病後の重症化防止に有効と報告されています。☎保健所感染症・医務業務課☎252-7187



HP 1004453



法律とこころの健康相談会



債務や解雇などさまざまな経済・生活問題に悩み、眠れない、HP 1004508 食欲がないなどの症状のある人またはうつ病ではないかと心配している人やその家族からの相談を、弁護士と臨床心理士がお受けします。

日時 11月25日(水)午後1時30分～4時30分 ※1人あたり1時間程度

場所 保健所3階相談室 費用 無料

申込 電話・ファクス

※申込用紙は市ホームページで入手可

☎保健所地域保健課(☎252-7191・☎252-0638)

令和8年度 全国ひとり親世帯等調査を実施します



HP 1041935

この調査は、全国の母子世帯、父子世帯および父母のいない児童のいる世帯の生活実態を把握し、ひとり親世帯などに対する支援の充実を図るための基礎資料を得ることを目的としています。

調査のため、ご自宅に調査員が訪問することがありますので、ご理解、ご協力のほどよろしくお願いします。

調査時期 11月1日(日)を基準日として調査

調査対象 全国の無作為に抽出された母子世帯、父子世帯および父母のいない児童のいる世帯

※すべてのひとり親などの世帯が対象ではありません。

調査方法 調査員が調査対象世帯を訪問して、紙の調査票およびオンライン回答のための利用者情報を配布します。

調査票は、郵送またはオンライン調査システムでの回答により回収を行います。

※調査対象世帯が不在などの理由で対面できない場合、調査票は郵便ポストに投函します。

☎子ども支援課☎214-2396

ゲートキーパー(いのちの門番)講演会



HP 1004507

●薬物・アルコール依存と自殺予防～多量服薬(オーバードーズ)への対応～

医薬品を決められた量を超えて服用してしまう「オーバードーズ」。オーバードーズ経験者は強い孤独感を抱いているケースが多く、つらい気持ちを紛らわすために使用していると言われています。

今回のゲートキーパー講演会では、周囲の人ができることについて学びます。特別な知識は必要ありません。大切な人の変化に気づき、声をかけるために、まずは知ることから始めてみませんか？

日時 11月18日(水)午後6時～8時

場所 ぎふメディアコスモス みんなのホール

※オンライン受講も可

費用 無料

申込 申込フォーム・電話／オンライン受講者は11月11日(火)まで

※当日、空きがあれば会場参加可

☎保健所地域保健課☎252-7191

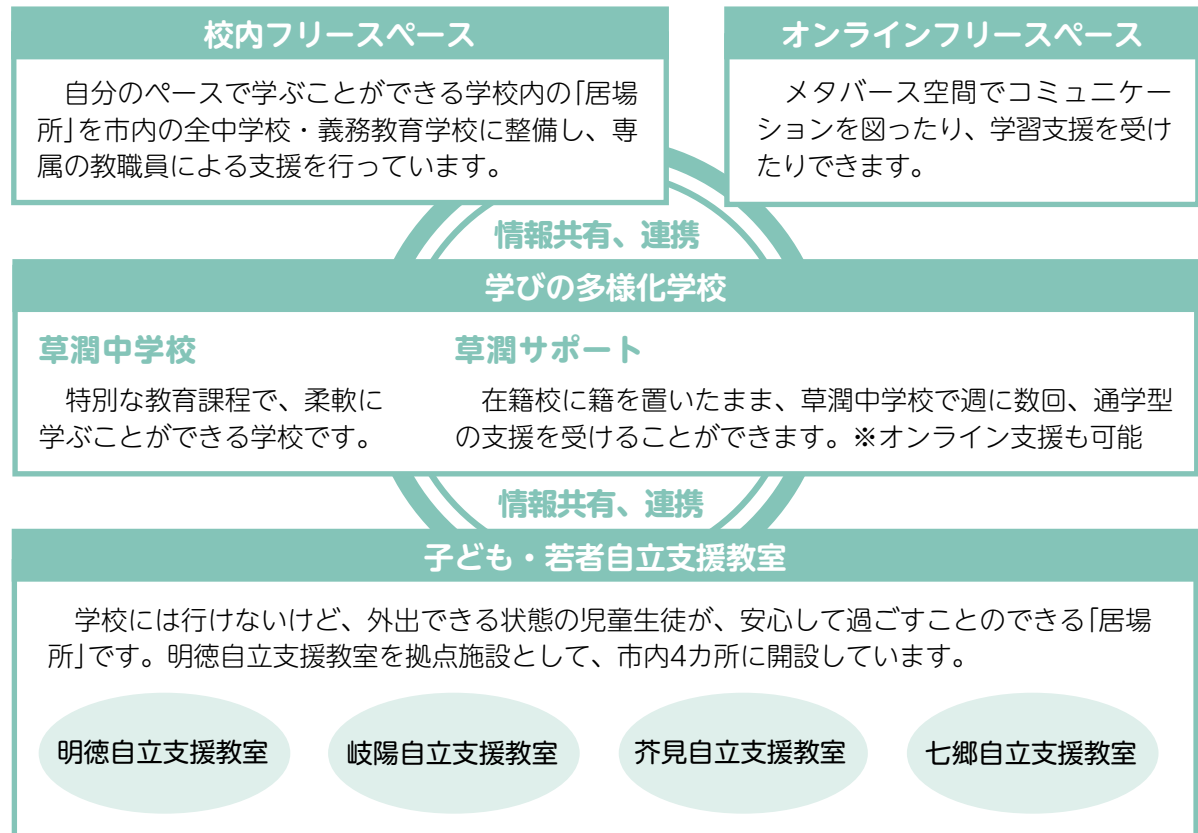
※ゲートキーパーは、「悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聴いて、支援につなげ、見守る人」のことです。

普通ごみは
指定ごみ袋
で 出してください

☎214-2350(環境事業課内)平日午前8時45分～午後5時30分

子どもたちが安心できる「居場所」づくり

子どもたちのさまざまな居場所



子ども・若者自立支援教室～子どもたちが安心できる居場所～

過ごし方は自分で決める

読書や学習、スポーツや創作活動などの過ごし方を自分で決めることができます。自分の体や心の調子、保護者の都合に合わせ、教室へ通う時間も帰る時間も自由に決めることができます。

明德自立支援教室をリニューアル

会議室や既存の教室をリニューアルし、一人で落ち着いて過ごしたり集中して学習したりできる「リラックスルーム」や仲間や支援員と交流できる「コミュニケーションルーム」を整備しました。

リラックスルームには個別のパーテーションや大型クッションなどを、コミュニケーションルームにはたたみ風マットスペースや組み合わせ自由な台形テーブルなどを設置し、子どもたちがその日の気持ちや状況に合わせて過ごし方を選びながら、安心して過ごせる「居場所」を整えました。



▲リラックスルーム

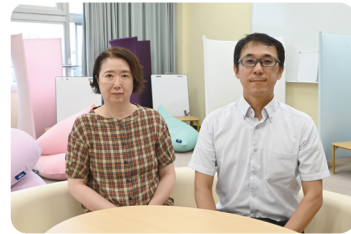


▲コミュニケーションルーム

支援員の声

Q. 自立支援教室はどんな場所ですか？

A. 子どもたちが安心して過ごし、自分のペースでやりたいことに取り組みながら、心身の安定やリフレッシュを図る場所です。支援員との関わりを通じて、「ここなら安心できる」と感じられる居場所づくりを大切にしています。



▲岩井支援員(左)、堀江係長

Q. どのような関わり方をしていますか？

A. 子ども一人一人の「やりたい」「頑張りたい」という気持ちに寄り添い、学習支援やコミュニケーションのサポートを行っています。子ども同士の自然な交流につながるよう橋渡し役も担っています。

Q. 自立支援教室で過ごす中で、子どもたちにどのような変化が見られましたか？

A. 教室で自信をつけた子どもたちが、「学校へ行ってみよう」など、自ら新たな一歩を踏み出す姿が多く見られます。自分に合った目標を見つけ、前向きに挑戦する姿に成長を感じます。

Q. 子どもたちにどんな力を身に付けてほしいですか？

A. 自分の気持ちや考えを伝えられる力を身に付け、自分の得意・不得意を理解しながら、自分らしく社会の中で生きていける力を育ててほしいと願っています。

Q. 利用を迷っている人へメッセージをお願いします

A. 少しでも悩みや不安があれば、まずは気軽に相談してください。見学や保護者向け相談会も行っているため、教室の雰囲気を実際に見て感じていただければと思います。

子ども・若者に関するあらゆる悩み・不安の相談に対応します

来所や電話、メールにて相談を受け付けています。まずは相談しやすい方法でご相談ください。

- エールぎふ総合相談(平日午前8時45分～午後5時30分)
☎0120-43-7830、✉gifu-kodomo-wakamono@world.ocn.ne.jp
- 子ども専用(24時間)※相談は20歳未満の人に限ります
☎0120-43-1474、✉gifu43izime-nashi@soleil.ocn.ne.jp